

「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」にかかる要件を満たす研修について  
(第1報)

2020年9月 掲載  
リンパ浮腫研修運営委員会  
委員長 辻 哲也  
教育評価認定部会  
部会長 宇津木 久仁子

本「リンパ浮腫研修運営委員会」(以下、「本委員会」という。)では、令和2年3月31日発出の厚生労働省保険局医療課「疑義解釈資料の送付について(その1)」(以下、「疑義解釈(その1)」という。)問139の問および答に基づいて、「本委員会」の規定する基準を満たすことにより、「『専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱』にかかる要件を満たしている研修」として公開することになりました。

今後は開催する「リンパ浮腫研修」<sup>注1)</sup>のうち、所定の手続きに基づいて、「本委員会」教育評価認定部会で適正に審査した結果から、「『専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱』にかかる要件を満たしている研修」として公開します。

1. 「リンパ浮腫研修運営委員会」について

「本委員会」は、リンパ浮腫治療にかかわる学協会の専門の方々に構成し、いままでに、「リンパ浮腫セルフケア指導者のための研修教育要綱(平成23年10月)」、「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱(平成28年2月一部改訂)」、「リンパ浮腫研修運営委員会による合意事項(2020年3月改定)」を公表して、リンパ浮腫に対する取り組みの標準化、研修のカリキュラムの作成、研修の実施に努めています。

2. 「リンパ浮腫研修運営委員会」の規定する基準について

「疑義解釈(その1)」の問139の問および答にいう「『リンパ浮腫研修運営委員会』が規定する基準を満たす研修」とは、「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱(平成28年2月一部改訂)」を満たす研修です。

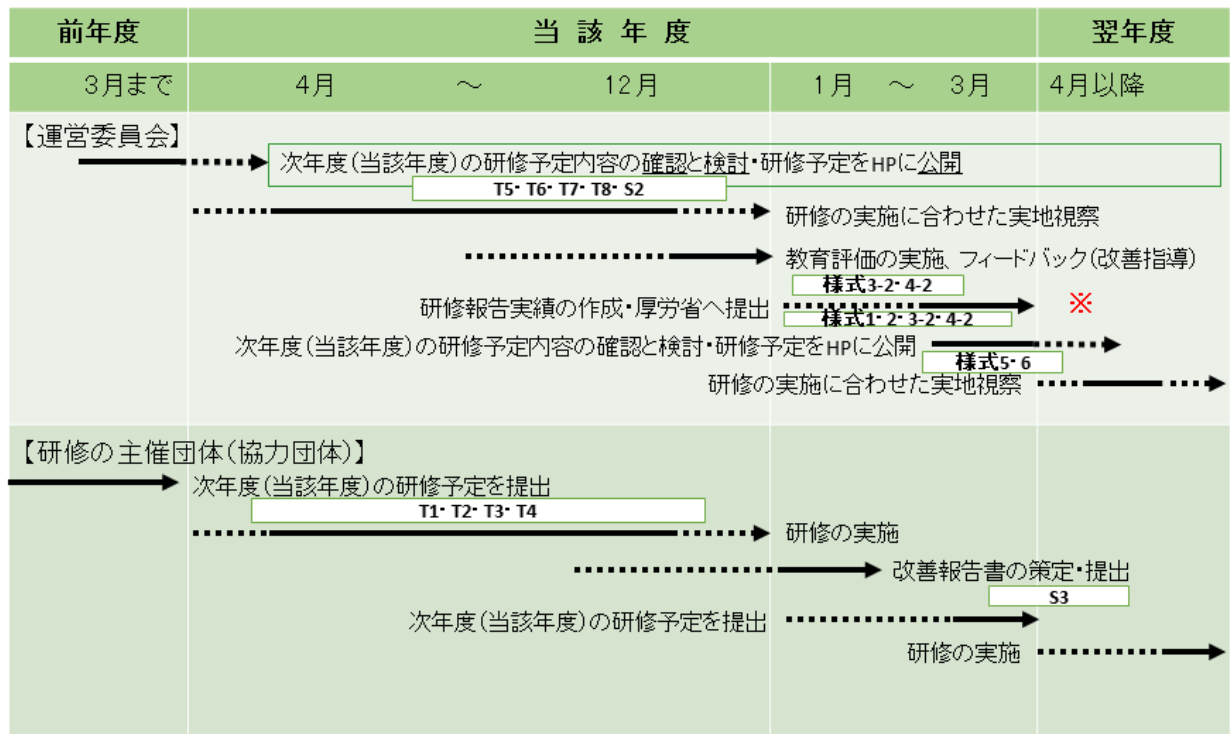
「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱(平成28年2月一部改訂)」には、「I 座学編」に「到達目標」、「II 実技編」に「学習目標」を示しており、研修会(研修会主催者)はこの「到達目標」「学習目標」に到達できるように適切なカリキュラムを構成し、講師を配置することを基準とします。

3. 「リンパ浮腫研修運営委員会」の規定する基準の評価について

評価は、「本委員会」教育評価認定部会の部員が、第三者的立場となって、原則として「評価の流れ」(図1)に沿って、各研修会的主催者が提出した書類(様式)の内容と現地視察<sup>注2)</sup>により審査します。

○「リンパ浮腫複合的治療料」の「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」にかかる要件を満たすリンパ浮腫研修について

評価の流れ



「リンパ浮腫研修運営委員会」の報告を受けて、厚労省で研修の承認、結果をLPCのHPで公開

図1 リンパ浮腫研修の評価の流れ（厚生労働省保険局医療課提出）

審査にあたって必要な様式に記載された内容と「本委員会」からの改善指導に対する改善報告、現地視察、研修会終了報告書の内容を、教育評価項目の基準（表1）に準じて評価します。

表1 教育評価の項目と基準

評価項目	評価段階	内容	個別評価 採点
総合評価	① 不合格	最低条件を満たしていない。または、前年度の指摘事項の改善が認められない。	
	② 最低条件を満たしている	部分的には指摘に対する改善が必要である。	
	③ 大きな問題はない	より良くなるように努力を期待する。	
	④ 良い	目標とすべきレベルに達している。	
	⑤ 極めて良い	著しく優れている。他にはみられない創意工夫がみられる	
<b>施設</b>			
1	① 不達切	適切な研修の実施が困難である	
	② 改善の余地あり	研修は可能だがゆとりが大きい	
	③ 大きな問題はない	「4」の基準を全て満たしていないが研修に支障はない	
	④ 良い	2人に1台の治療ベッド、ホワイトボードまたはプロジェクター、治療に困らず講師が選べるスペースの確保、治療用品の準備	
	⑤ 極めて良い	標準以上の養成レベル(高さ調整式の治療ベッド、FB用のビデオなど)	
<b>座学講師</b>			
2	① 不達切	臨床実績がない	
	② 改善の余地あり	臨床実績はあるが不十分	
	③ 大きな問題はない	講義内容に一致する5年以上の臨床実績がある5年以上の教育経験はない	
	④ 良い	講義内容に一致する5年以上の臨床実績と教育経験がある。ただし、基礎医学の場合は臨床実績は不要	
	⑤ 極めて良い	講義内容に適切な職種、講義内容に一致する5年以上の臨床実績がある。講義内容に一致する5年以上の教育経験がある	
<b>実技講師</b>			
3	① 不達切	研修・臨床実績がない	
	② 改善の余地あり	研修・臨床実績はあるが不十分	
	③ 大きな問題はない	研修と講義内容に一致する5年以上の臨床実績があるが5年以上の教育経験はない	
	④ 良い	研修と講義内容に一致する5年以上の臨床実績と教育経験がある	
	⑤ 極めて良い	講義内容に適切な職種、講義内容に一致する5年以上の臨床実績、教育経験、研究業績がある	
<b>テキスト・教材</b>			
4	① 不達切	テキストや教材がほとんどない	
	② 改善の余地あり	テキスト・教材はあるが不足している	
	③ 大きな問題はない	最低限の標準治療や留意点が記載されている	
	④ 良い	標準治療、留意点がわかりやすく記載されている	
	⑤ 極めて良い	標準治療や留意点が書かれた上で、学習しやすいような創意工夫や症例紹介などがみられる	

団体名

評価項目	評価段階	内容	個別評価 採点
<b>カリキュラム</b>			
5	① 不達切	研修要綱に合致した研修計画が確認できない	
	② 改善の余地あり	教育要綱に合致した研修計画が確認できるが、具体的な学習目標が明記されていない	
	③ 大きな問題はない	研修要綱に合致した研修計画が確認できるが、具体的な学習目標が十分に明記されていない	
	④ 良い	彈性着衣や多層包帯法などの領域等に具体的な学習目標と研修計画(日時、時間)などが明記されたカリキュラムが作成され、研修要綱に合致している	
	⑤ 極めて良い	単元ごとに具体的な学習目標と研修計画(日時、時間)などが明記されたカリキュラムが作成され、研修要綱に合致している	
<b>教育内容(彈性着衣、多層包帯法、MLD)</b>			
6	① 不達切	研修要綱に合致していない。リンパ浮腫患者に不利益が予想される問題ある指導が行われている	
	② 改善の余地あり	患者に大きな問題はないが、客観性が乏しく教育要綱に合致しない内容が部分的に認められる	
	③ 大きな問題はない	研修要綱に合致した実技指導(意図、禁忌、方法を含む)が行われている	
	④ 良い	研修要綱に合致した、機動的な実技指導のデモンストレーションがあり、学習のポイントをわかりやすく、理論的に教授している。学習者に合わせた適切なフィードバックがある	
	⑤ 極めて良い	「4」の条件を満たした上で学習者に合わせた工夫が多く認められる	
<b>修了試験</b>			
7	① 不達切	評価法の基準が作成されていない。信頼性を得るための方法が明らかでない。評価時間が基準を満たさないなどの重要な問題がある	
	② 改善の余地あり	評価法の基準や信頼性、評価時間に問題がある	
	③ 大きな問題はない	評価法の基準や信頼性、評価時間に不足を感じる	
	④ 良い	評価法が明確であり、複数の評価者で、十分な時間をかけて行われている	
	⑤ 極めて良い	評価法が明確であり、複数の評価者で、十分な時間をかけて行われていて、妥当性を検証し誤差に改良が加えられている	
<b>レビュー講座</b>			
8	① 不達切	行われていない	
	② 改善の余地あり	行われているが毎年ではない	
	③ 大きな問題はない	毎年行われているが、内容は比較的単調である	
	④ 良い	毎年行われ、内容にも工夫がみられる	
	⑤ 極めて良い	毎年、多彩な内容で行われている。受講しやすくなるような工夫がみられる	
<b>データ管理</b>			
9	① 不達切	管理・保存されていない	
	② 改善の余地あり	管理・保存されているが、不十分である	
	③ 大きな問題はない	管理・保存されていて必要なデータを探すことができるが、十分に整理はされていない	
	④ 良い	整理されて管理・保存されている。またはデジタル化されて保存されている	
	⑤ 極めて良い	検索や分析がしやすいようにデータベース化されて、管理・保存されている	

各項目の2レベル以下の評点の項目について早急に改善し、年度内に改善報告を委員会宛に提出すること。適否レベル2以下の場合はその后再視による評価を受けること。

#### 4. 「リンパ浮腫研修運営委員会」の規定する基準の評価結果と公開について

「本委員会」で審査した結果については、研修会主催者に報告をします。また、同報告を、厚生労働省保険局医療課に報告および相談をしたうえで、『『専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱』にかかる要件を満たしている研修』として了承をえた研修会について、「本委員会」事務局である(一財)ライフ・プランニング・センターのHPで公開します。

#### 5. 「リンパ浮腫研修運営委員会」の「研修協力団体」について

「本委員会」では、リンパ浮腫研修会の主催者に「研修協力団体」として申請いただき、「意見交換会」や「交流研修会」を定期的を開催して、日本国内のリンパ浮腫治療の質の維持向上および社会的な啓発普及に取り組んでいます。

現在、「本委員会」が規定する「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱(平成28

年2月一部改訂)」に則り、研修会を運営するために、すべての研修主催者が「研修協力団体」となり、国内のリンパ浮腫治療の質の維持向上および社会的な啓発普及に取り組んでいます。

## 6. 問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、

「リンパ浮腫研修運営委員会」事務局 <http://lpc.or.jp/cgi-bin/form/?no=2>

注1：2019年度の研修の企画申請・実施報告書は、すでに締め切っています。2020年度の研修については、企画申請をすでに締め切っています。

注2：「現地視察」は、必要に応じて、改善指導に対しての改善の確認のために、評価認定部会員が、研修会当日に調査を行います。なお、現地視察については、事前に研修主催者に連絡します。